

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		-	-	-
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・僅かながら増税前の買換え需要を感じる。新型イベントの 谷間だが、前年を超える新車受注を維持している。
		その他サービス 〔葬祭業〕(経 営者)	お客様の様子	・前月は詐欺の風評被害で、葬儀はほぼ全減だったが、最近 ちらほら入ってきている。意外に早く戻ってきたと感じてい る。
		商店街(代表 者)	販売量の動き	・月初の七夕は、通りの屋台は平年より早く、木曜日から出 店したが、にぎわったのは土日の2日間だけである。元々、 売上に直結する人出はないので、期待はずれという訳ではな いが、その後もイベントをきっかけに、人出が多くなること もなく、街なかが開散とした状態は続いている。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・各企業や官庁で、夏のボーナスが出たが、我々小売店に は、その影響はほとんどない。特別良くなったところも見当 たらなし、いつボーナスが出たかも分からないくらいの静 かな状態である。
		一般小売店〔家 電〕(経営者)	お客様の様子	・天候の影響で、エアコン、他の季節商材の動きが良くない。 ボーナスシーズンでもあるが、ボーナスの支出先は家電 には向いてこない。財布のひもが固いのか、消費意欲がない のか、買換え需要だけで厳しい。
		一般小売店〔家 電〕(経営者)	販売量の動き	・前年と比べて梅雨空が続き、冷夏で、特に夏物商材の動き が予想外に少ない。
		百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・前年と比べて、気温が上がらず暑い日が続かなかったこと で、客の関心が薄く、夏物アイテムが苦戦している。これは セールも同様で、苦戦している。フリー客は一層減少傾向で ある。
		コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・販売量の動きをみても、冷たい物等の動きが余り良くない。 い。
		家電量販店(店 長)	来客数の動き	・前年と違い気温が低かったため、集客、購入点数が大幅に 下がっている。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・予約受注で好調な部分がプラスにはなっている。しかし、 前月からフリー客の動きが鈍く、結果的には伸びがない。選 挙があると動きは鈍化傾向になるが、それ以上に全体的に消 費を控える方向へシフトしているように感じる。
		旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・米中貿易摩擦が長期化しており、企業の足踏み感が感じら れる。既存の取引先の動きはみられたが、新たな旅行は発生 しなかった。個人受注でもゴールデンウィークの反動が少し 見え始め、夏の受注が鈍い。
		タクシー運転手	販売量の動き	・今月も前年比95～96%で終わりそうである。
		設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・受注が多く、下請に出す量が増えている。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・天候不順で梅雨明けが遅く、夏物商材が前年の半分くらい しか動かない。どうも5月の大型連休から、財布のひもが締 まってしまったようである。
		スーパー(経営 者)	来客数の動き	・前年は空梅雨で高温だったが、今年は一転して梅雨が長引 き、反動で来客数が減り、夏物商材も減少している。
		スーパー(経営 者)	それ以外	・1週間に1度、市場に仕入れに行くが、野菜がだぶついて いるのか、大根はMサイズ10本入り1ケース300円、小松菜 1袋10円とかで売られている。販売先が加工利用できれば喜 んで仕入れるが、必要以上には要らない。それでも問屋から 押し付けられている。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・今年は遅い梅雨明けの影響が、顕著に出ている。
		コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・天候や気温の影響もあるが、来客数、買上単価が上がら ず、売上全体の底上げが実現できていない。10月の増税で更 に消費は冷え込む。
		コンビニ(店 長)	お客様の様子	・前年に比べて今年は冷夏が影響して、売上はそれなりに下 がっている。客の様子も、今までどおりの買物というより は、若干控えているような雰囲気なぜかある。

	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要を期待していたが、客は10月まで冷静に見ている感が否めない。そのため、車両販売だけでなく、一般整備の売上にも悪影響を与えている。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数が前々月あたりから悪化してきている。一時的なものかとも見ていたが、どうも継続的に落ち込んでいる。理由はいろいろあると思うが、よく分からない。	
	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・7月は天候不順に悩まされている。観光部門も雨続きの影響が、一般客が減少し、宿泊も客足が鈍い。	
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・6～7月の宿泊人数、売上は共に前年を割っている。	
	遊園地(職員)	来客数の動き	・新規施設の開業やイベントなどの集客施策を実施し、来客数は前年を上回ったものの、3か月前と比べると伸び幅は減少している。	
	× スーパー(経営者)	お客様の様子	・来客数減により売上が減少している。老後2000万円問題で、消費者心理的に冷え込んでいるのではない。	
	× 衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・この時期になると、夏物のオーダーメイド部門は注文がない。体形が変わったことによる、以前作った夏物スーツのサイズ調整がほとんどだが、それも6月一杯で終わる。	
	× スナック(経営者)	競争相手の様子	・来客数の動き、客の様子も選択したかったが、店舗もあちこちでできており、競争相手の様子はほとんど分からないので、1番不安である。	
	× 観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・7月は天候が悪い上に梅雨寒で、夏の避暑地エリアは入込が大幅に落ちている。人気避暑地の宿泊施設に空室があり、入込が悪いため、価格も下がっている。当館のような周辺の宿は、影響が更に大きく、売上も大幅に減少している。	
	× 通信会社(経営者)	お客様の様子	・節約志向が強くなりつつあり、高齢者の保留や解約が増加している。	
企業 動向 関連  (甲信越)	-	-	-	
	*	*	*	
	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・今年の梅雨は期間が非常に長く、来場者数も平年より大幅に減少し、当然売上も減少している。	
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・小売の展示会は来場者、売上共に、前年比10%減である。店頭でもサマーセール集客が悪く、売上が低迷している。価格競争も一段と進み、苦戦を強いられている。ただし、卸販売では、売上低迷から買い控えをしていた業者が、少しずつ新作を購入するようになってきている。	
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注は好調が継続している。増税間近で更に増えており、年内の手持ち工事は一杯である。	
	金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・観光業からみて7月は、天候に恵まれず雨が多く、観光客の足取りも重かったが、徐々に富士山やその周辺には訪日客が増えている。	
	食料品製造業 (製造担当)	競争相手の様子	・県内トップの老舗企業が倒産した。格安で販売していたため、借金の回収ができない。	
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上がなかなか回復せず、低迷している。主力商材にも力がなく、計画割れである。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・周辺の工業関係企業は、仕事が減少している。	
	金融業(調査担当)	取引先の様子	・製造業では米中貿易摩擦に伴う受注減の影響から、景況感の悪化が続いている。	
	新聞販売店[広告] (総務担当)	取引先の様子	・消費税増税、米中や日韓の貿易対応で、日本にも少なからず影響が出ると予想している企業は多い。経費削減傾向を強めていることがつかえる。	
	×	*	*	*
	雇用 関連  (甲信越)	-	-	-
求人情報誌製作会社(経営者)		求人数の動き	・正社員の求人は少なくなり、全体的に求人誌への掲載企業も大分減ってきている。特に、製造業の募集はここに来て動きが鈍くなっている。	
人材派遣会社 (営業担当)		雇用形態の様子	・事務職募集案件がハローワークにもなく、相談者が切実に困っている。	

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・米中貿易摩擦の影響から、製造業では中国向けの輸出が2～3割減少しているとのことである。また、サービス業の新規求人数も落ち込んでいる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の新規求人の減少が続いている。経済団体からは人手不足感はあるものの、落ち着いてきているとの声もあり、新卒者の採用を減らす企業も現れてきている。低賃金で利用できる外国人雇用を増やす予定の業界も散見される。
	x	-	-